【学校通信】

平成 31 年 4 月 11 日

第 3 号

# 西中の風

継続と徹底

伊丹市立西中学校長

大西　規之

## 第７３回入学式を挙行しました




４月１０日（水）に第７３回入学式を、たくさんの来賓の皆様に見守られながら挙行いたしました。１７１名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。２万人を超す卒業生が築いてこられた合唱や挨拶などの西中学校の素晴らしい伝統を受け継ぐとともに、新たな伝統を作り上げてください。期待しています。

～　式辞からの抜粋　～

新１年生の皆さんがこれから３年間にわたる中学校生活を送るにあたり、本校の「めざす生徒像」の内４つについてお話しします。

**１つ目は、進んで学習に励む生徒になって欲しいということです。**

中学校では、人から言われてから勉強するのではなく、自分から分からないところはどんどん先生に質問したり、調べたりするような積極的な態度が必要です。また、授業中に進んで意見を言ったり、グループでの意見をまとめて発表したりすることも大切になってきます。

**２つ目は、授業や行事、部活動などに全力で取り組む生徒になってほしいということです。**

よく、「何もしないでも一日　何かしても一日」と言われますが、のんべんだらりと毎日を送れば時間だけが過ぎ、思い出として残るものは何もありません。同じ中学校生活を送るなら、すべてのことに全力で取り組んでほしいと思います。全力で取り組んだ時には、充実感や満足感、そして感動があります。

**３つ目は、将来の夢や目標を抱き、その実現に向けて挑戦する生徒になってほしいということです。**

新たな環境になるということは自分を変える、また、新たな目標を立てて頑張るチャンスだと思います。小学校の卒業式で一人ひとりが夢や目標を語ったと思いますが、あらためて今、中学校で頑張ることを決めてほしいと思います。例えば「家で毎日２時間は勉強をする」とか、「部活動は休まず頑張り、いい結果を残す」などです。私の知る限り、素晴らしい成果を残している人たちはしっかりとした夢や目標を持っています。たとえ手に届きそうにない夢も日々努力を続けている内に、夢が目標に変わり、それが現実のものとなります。

**最後４つ目は、生活の基本として、「人の話をしっかりと聞けること」「服装を正し、規律を正すこと」など、規範意識や基本的生活習慣をきちんと身につけた生徒になって欲しいということです。**

中学生になったということは、大人への第一歩を踏み出したということです。卒業後はよき社会人となり、世の中に貢献できる人となるための基礎を学ぶということでもあります。生活の基本だけはしっかりと身につけて欲しいと思っています。

以上

素晴らしい中学校生活になりますように。少しでも不安がなくなるように先生も先輩も新入生の皆さんをサポートします。安心してください。